

# 2. 令和の首里城復興

火災の被害を受けた首里城。現在、首里城はどのように復興作業が行われているのかな？

## 2019年の首里城火災

2019年10月31日夜、首里城正殿で火災が発生し、正殿や北殿、南殿をはじめとした主要な建物、所蔵されていた文化財が焼失しました。この出来事は沖縄県民に大きな衝撃を与え、世界中にもそのニュースが伝えられました。



## 復興への動きとたくさんの寄付

多くの人たちが悲しみにくれましたが、だちに復興の計画が立ち上がり、国内外からの寄付金は60億円(2024年10月末現在)にものぼりました。正殿は2026年の完成をめざして工事が進んでいます。



### 首里城復興基金

首里城火災からの復興のために使用します。

### 首里城未来基金

首里城を未来へ継承するために使用します。P16で解説!



## 2度目の木曳式

2022年11月、正殿の起工式に合わせて材木を国頭村から首里まで運ぶ木曳式が行われました。平成の復元から続いて2回目となる今回、国頭から切り出したオキナワウラジロガシが運ばれ、木曳パレードと木遣行列が行われ、音楽芸能などが奉納されました。



2022年11月3日 木遣行列

## 令和の復元とその特徴

### 首里城復元

2026年の完成をめざすよ!

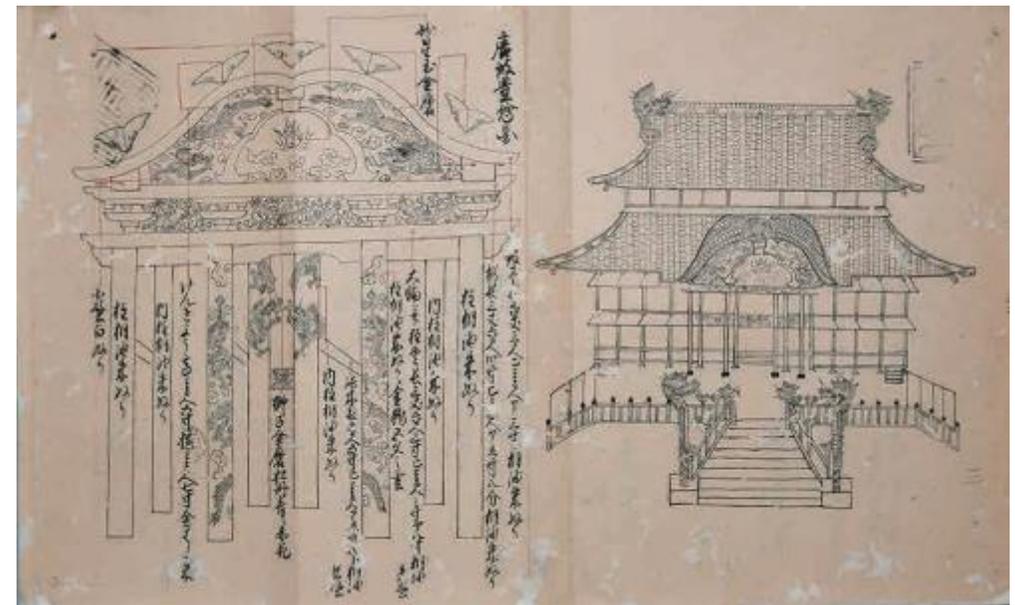
### 段階的公開

復興の様子をみえるように公開!

### 地域復興・観光復興への貢献

地域と一緒に盛り上げ、未来に技術を受け継ぐ

首里城の復元は、きちんとした歴史の資料にもとづいて再現する方針になっています。令和の復元では、新しく見つかった首里城の記録や、新しくわかった調査・研究の成果を取り入れて、前回の姿を受け継ぎながらバージョンアップした首里城になります。



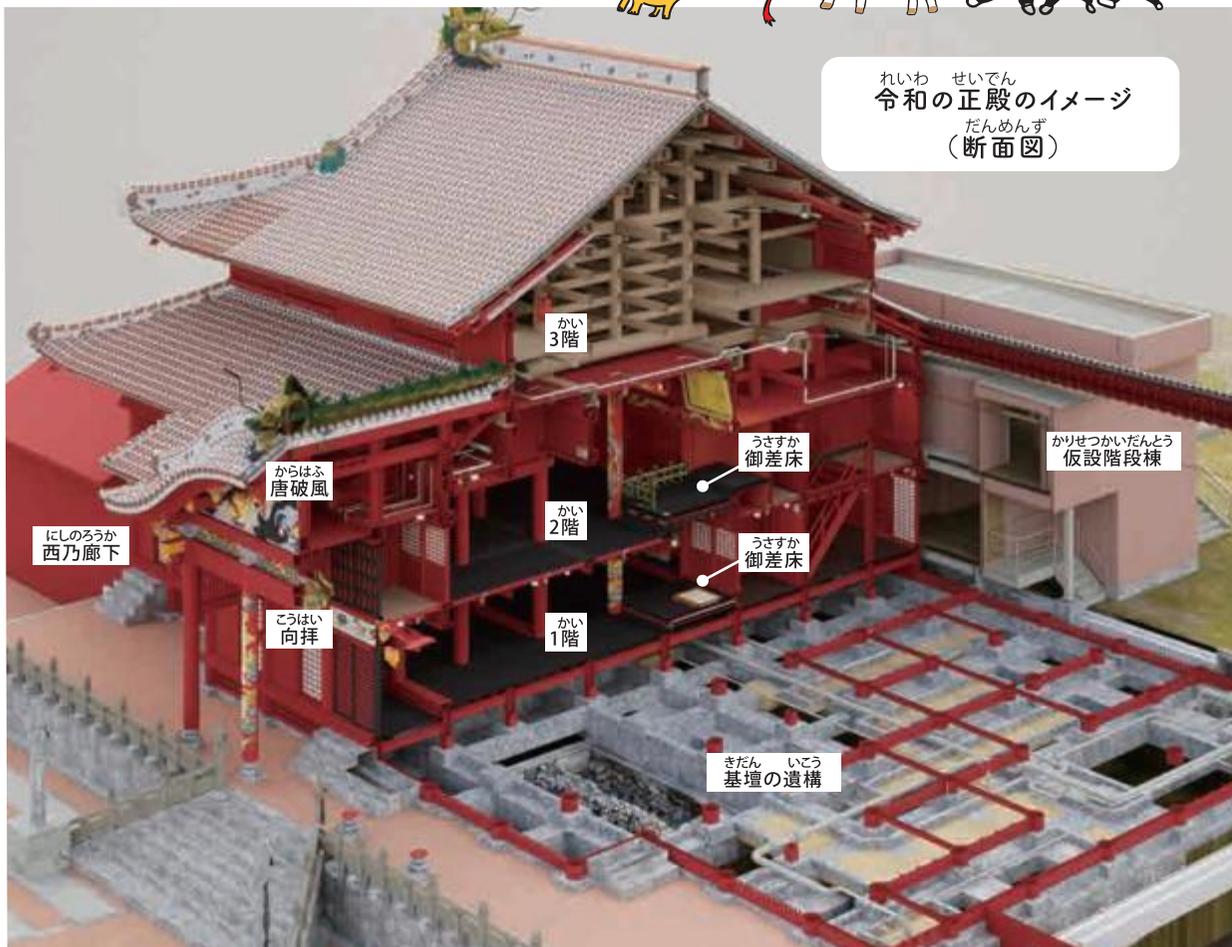
尚家文書「百浦添御普請絵図帳」/那覇市歴史博物館所蔵

平成・令和の  
復元箇所  
の比較をしてみよう！

令和に復元される正殿は、平成の時とまったく同じではなく、  
新たな発見や資料をもとにリニューアルされたところが  
いくつかあります。平成と令和のちがいをくわしく見てみよう！



令和の正殿のイメージ  
(断面図)



1. 正殿2階天井裏の  
小屋丸太梁の「木材」は  
どう変わるのかな？



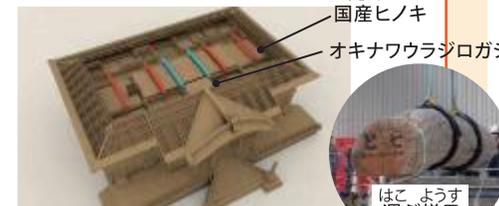
平成の復元

九州産の「オキナウラジログシ」を  
6本使用



令和の復元

沖縄県産の「オキナウラジログシ」  
を中央2本に使用



国頭から切り出したオキナウラジログシを使用しました。

2. 正殿2階の御差床にある  
「扁額」のデザインは  
どう変わるのかな？



平成の復元

地板の色は「朱色」の漆。  
額縁は漆に金箔使用



令和の復元

地板の色は「黄色」の変更。  
額縁は彫刻に



令和2年に「修復された古文書」の記述をもとに変わります。

※令和の復元はすべてイメージ画像です。

3. 正殿の2階にある、「御差床高欄」のデザインは、どう変わるのかな？



平成の復元

しまこ柱・欄干柱が楕円型

はしら柱イメージ



令和の復元

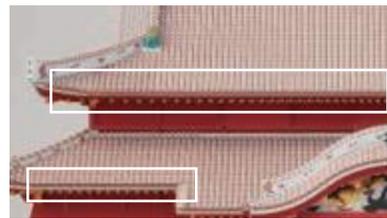
しまこ柱が「逆T字変形成」、欄干柱が「逆T字型」

はしら柱イメージ



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

4. 首里城正殿の屋根の軒先、「軒丸瓦」のデザインは、どう変わるのかな？



平成の復元

「横向き」の牡丹



令和の復元

「正面向き」の牡丹



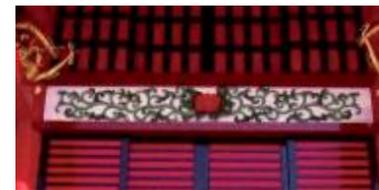
出土品や瓦の遍歴の分析結果に基づいて変わります。

5. 向拝奥の「彫刻物の文様（牡丹・獅子・唐草）」は、どう変わるのかな？



平成の復元

真ん中にある1つの「牡丹」と「唐草の模様」



出典:(一財)沖縄美ら島財団

令和の復元

3つの「牡丹」と「唐草の模様」、1対の獅子へ



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

6. 向拝奥の「彫刻物(左右の獅子)」は、どう変わるのかな？



平成の復元

白い四角の真ん中に収まるサイズ。顔は「下向き」にある



令和の復元

サイズが1.3倍大きくなり、顔が「上向き」に



古写真の詳細な分析結果をもとに変わります。

※令和の復元はすべてイメージ画像です。

復興に関わる人たちの取り組みと思い



首里城の復元には、専門技術を持つ多くの職人さんたちが携わっています。沖縄県産の材料を結集し、琉球王国時代から受け継がれる伝統技術で築き上げます。2026年の正殿完成を目指して、復元に情熱を注ぐ職人さんたちの思いを聞きました。

どういった業務をしていますか？

首里城の赤瓦づくりと原料となる土づくりも行いました。令和の復元では、シャモット（火災で破損した瓦を細かく

砕いたもの）を入れていきます。配合に苦労しましたが、平成の首里城の思いを残すことができよかったです。



島袋 拓真さん(有限会社 島袋瓦工場)

どういった業務をしていますか？



崎間 清野さん(株式会社 漆芸工房)

正殿に掲げられる扁額「中山世土」の漆塗りをしています。漆は作業工程が多く難しいですが、手間をかけて美しく仕上げ

ていくのが魅力です。首里城の復元に携わりたいと思っていたので、技術を学びながら頑張っています。

たくさんの職人さんが復興に関わっているよ！



せいさくだんかい制作段階でくろくろ黒くなっていくんだって！

首里城未来基金

伝統技術を未来へ繋いでいくための人材育成

首里城未来基金とは…？

復元した後も、保存・修復を行い、未来に繋げるためには、伝統技術を持っている人が必要です。令和4年4月以降、「首里城未来基金」を創設し、伝統的な建築技術の人材育成、首里城周辺の歴史まちづくり推進等に活用しています。



寄付金贈呈式(SYURINOUTA)

木工



木工実習

若手技術者などを対象に研修が行われています。建造物木工の講義・実習や正殿の復興現場の見学を通して伝統技術を伝え、未来の首里城のために人材育成・伝統技術の継承を行います。

彫刻

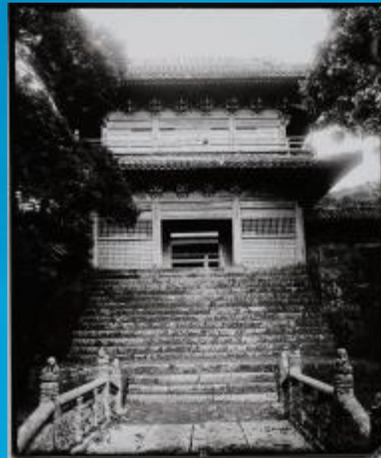
若手技術者などを対象に研修を行っています。正殿復元にも携わる県立芸大の教員などを講師に招き、実習・講義、見学などを行い、木彫刻にかかわる伝統技術を伝えます。



木彫刻実習

# 2. 令和の首里城復興

円覚寺山門



沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館所蔵  
鎌倉芳太郎撮影

しゅりじょうとなり  
首里城の隣に  
てら せいび  
あるお寺も整備  
されます

おうじ ていたく  
王子の邸宅  
たても  
だった建物も  
ふくげん よてい  
復元される予定

中城御殿



## しゅりじょう すす 首里城とともに進む りゅうきゅうぶんか ふっこう 琉球文化の復興

しゅりじょう ふっこう しゅうへん れきしてき  
首里城の復興とともに、周辺にあった歴史的な  
たても りゅうきゅうおうこくじだい ぶんかざい  
建物や琉球王国時代の文化財、  
でんとうげいのう つぎつぎ  
伝統芸能なども次々とよみがえろうとしています。  
りゅうきゅうぶんか も あ しゅりじょう すがた  
琉球文化も盛り上げることで、首里城の姿が  
よりあざやかにみえてくるはずですよ。



玉御冠 (模造復元品) 沖縄県立博物館・美術館所蔵

りゅうきゅう ぶんかいざん さいげん  
琉球の文化遺産を再現して、  
ぎじゅつ う つ  
その技術を受け継ぎます

伝統芸能



出典:(一財) 沖縄美ら島財団

しゅりじょう  
首里城でも  
えん  
演じられて  
います



黒漆雲龍螺鈿東道盆 (模造復元品) (原資料:一般財団法人沖縄美ら島財団所蔵)  
沖縄県立博物館・美術館所蔵

## まとめ

ねん む ちゃくちゃく しゅりじょう ふっこう すす こくないがい おお おうえん  
2026年に向けて、着々と首里城の復興は進んでいます。国内外からも大きな応援を  
う おきなわ ひと ちから しゅりじょう ふっこう しゅりじょう  
受け、沖縄の人たちも力をつくしています。そして首里城の復興にくわえ、首里城のま  
わりにあった ぶんかざい れきしてき ふうけい れきし う だ おんがく  
文化財や歴史的な風景をとりもどし、歴史のなかで生み出された音楽  
げいのう びじゅつこうげい いっしょ おきなわ も あ ほんとう ふっこう  
芸能や美術工芸なども一緒に沖縄で盛り上げていくことが、本当の復興につな  
がっていくかもしれません。

せんじん う つ ぶんか みらい つた  
みなさんも先人たちから受け継いだ素晴らしい文化を未来に伝えていきましょう!



出典:(一財) 沖縄美ら島財団